

## 資料配布の場所・日時

1. 筑波研究学園都市記者会(資料配布)
2. 国土交通記者会(資料配布)
3. 国土交通省建設専門紙記者会(資料配布)

日時：令和4年1月31日(14:00)



## 国立研究開発法人土木研究所『共同研究者の募集』について

(土工・舗装工における施工工程データ等を活用した生産性向上技術に関する研究)

国立研究開発法人土木研究所では、令和4年度新規に実施する以下の共同研究について、共同研究者を募集しますのでお知らせします。なお、研究内容等の詳細につきましては、担当チームにお問い合わせください。

### 1. 土木研究所が提案する共同研究 (土研提案型：公募共同研究)

土工・舗装工における施工工程データ等を活用した生産性向上技術に関する研究(詳細は別添-1)	令和4年4月(予定) ～ 令和7年3月
担当：技術推進本部 先端技術チーム	
<p><b>共同研究の目的</b></p> <p>近年のICT技術の目覚ましい発達により、施工現場において施工中の工程データなどを多点的に取得可能となっており、これらのデータを活用した生産性向上手法の開発が期待されている。土工や舗装工(路盤工含む)における出来形管理、品質管理等の一部でこのような多点データの活用がなされているが、施工全体の生産性向上を推進するためには、データを容易に取得できるシステムのさらなる研究開発と、それらシステムを社会実装させるための検討が必要である。</p> <p>そこで本研究では、土工や舗装工において施工業者などが開発したシステム等を用い、土木研究所にて施工現場への活用方法、データ取得の課題点、必要な環境・現場条件などを検証・整理する。さらに整理した情報を基に、システムの社会実装方法の検討を行うことを目的とする。</p> <p><b>共同研究の内容(項目)</b></p> <p>① データ収集システムの検証 様々なシステム等を用い、土木研究所にて施工現場への活用方法、データ取得システムの課題点、必要な環境・現場条件などを検証・整理する(土木研究所実験フィールド等を活用し、検証実験等を行う)</p> <p>② システムの社会実装方法の検討 ①にて検証したシステムの社会実装方法の検討を行う。必要ならば、基準類作成のための基礎的実験を行い、関係機関などへ提案を行う。</p>	

### 2. 募集期間 **令和4年1月31日(月)から令和4年2月25日(金)17:00まで**

3. その他 土木研究所の共同研究制度の概要や申請書、協定書等の様式につきましては、土木研究所ホームページ(<https://www.pwri.go.jp/>)に掲載しております。なお、申請書類につきましては、上記担当へ提出願います。

問 い 合 わ せ 先	
全般的なことについて	国立研究開発法人土木研究所 企画部 研究企画課 課長 百武 壮 主査 田中 勝裕 電話 029-879-6751
研究内容について	国立研究開発法人土木研究所 技術推進本部 先端技術チーム 上席研究員 山口 崇 主任研究員 橋本 毅 電話 029-879-6757

# 別添－1

## 1. 共同研究の名称

土工・舗装工における施工工程データ等を活用した生産性向上技術に関する研究

## 2. 共同研究の概要

＜ 共同研究の目的 ＞

近年のICT技術の目覚ましい発達により、施工現場において施工中の工程データなどを多点的に取得可能となっており、これらのデータを活用した生産性向上手法の開発が期待されている。土工や舗装工（路盤工含む）における出来形管理、品質管理等の一部でこのような多点データの活用がなされているが、施工全体の生産性向上を推進するためには、データを容易に取得できるシステムのさらなる研究開発と、それらシステムを社会実装させるための検討が必要である。

そこで本研究では、土工や舗装工において施工業者などが開発したシステム等を用い、土木研究所にて施工現場への活用方法、データ取得の課題点、必要な環境・現場条件などを検証・整理する。さらに整理した情報を基に、システムの社会実装方法の検討を行うことを目的とする。

共同研究の内容（項目）

### ① データ収集システムの検証

様々なシステム等を用い、土木研究所にて施工現場への活用方法、データ取得システムの課題点、必要な環境・現場条件などを検証・整理する（土木研究所実験フィールド等を活用し、検証実験等を行う）

### ② システムの社会実装方法の検討

①にて検証したシステムの社会実装方法の検討を行う。必要ならば、基準類作成のための基礎的実験を行い、関係機関などへ提案を行う。

## 3. 実施期間 令和4年4月（予定） ～ 令和7年3月31日（全体計画 3年間）

＜裏面もご覧下さい＞

#### 4. 共同研究の内容及び研究分担

研究の分担						
研究項目	研究細目	研究分担		年次計画		
		土研	共同研究者	4年度	5年度	6年度
① データ収集システムの検証	検証実験等計画作成	○	◎	→		
	検証実験等実施	◎	◎		→	
	結果のまとめ	○	◎		→	
② システムの社会実装方法の検討	検討の実施	◎	○			→
	基準類策定などの提案	◎	○			→

※ 研究分担に主従がある場合は、主として分担する場合は◎印とし、従として分担する場合は○印とする。

#### 5. 共同研究に参画する条件及び募集する参加者数等

##### < 参画条件 >

下記条件（1）を満たし、本共同研究の遂行のために適切な人員配置が可能であり、かつ本共同研究の実施に必要な費用を分担できること

- （1）土工、舗装工における多点データ収集システムを有し、それら機器の提供と、取付および調整ができる技術者を本共同研究に参画させることができること。

##### < 参加者の選定方法 >

書類審査、必要に応じて個別ヒアリングを実施の上、選定する。

#### 6. 注意事項

本共同研究において、各者で実施（分担）する研究に係る費用は、各者の負担とする。

#### 7. 担当者

技術推進本部 先端技術チーム

山口・橋本（TEL：029-879-6757）